

平成20年3月13日

報道機関各位

熊本大学企画部企画課広報室

文学部文化接触研究会
共同研究「国際化時代の日本研究の可能性」を開催

熊本大学文学部文化接触研究会では、地域やジャンルを越えるさまざまな文化事象について、分野横断的な研究活動を行っています。

今回は、国外また学外から各1名の日本研究者を迎え、共同研究会を下記のとおり開催いたします。発表の使用言語は、すべて日本語です。

つきましては、広く一般の方にお知らせさせていただきますよう、よろしく願いいたします。

記

【開催日】平成20年3月22日(土) 13:00~17:00

【場 所】熊本大学 くすの木会館レセプションルーム(黒髪北地区)

【対象者】どなたでも

【プログラム】

[発表] 各発表時間に、質疑応答10分が含まれます。

13:10~14:00 「旅行者の視線—宮本百合子の「モスクワ」」
溝渕 園子(熊本大学文学部准教授)

14:05~14:55 「誰がために『サヨンの鐘』を鳴らす—やまぬ「帝国銀幕」のこだまと声なきかたり」
蕭 幸君(台湾・東海大学文学部准教授)

15:15~16:05 「響き合うテキスト(四)心の隔たり—豊子愷「華瞻的日記(華瞻の日記)」(1927)と漱石「柿」(1909)」
西楨 偉(熊本大学文学部准教授)

16:10~17:00 「夏目漱石と村上春樹—東アジアへの眼差し」
柴田 勝二(東京外国語大学外国語学部教授)

申込不要、参加費無料です。

懇親会を開催します。18:30~20:30(くすの木会館和室) 会費:4,000円程度
詳細は、熊本大学ホームページに掲載しています。<http://www.kumamoto-u.ac.jp/>

~お問い合わせ~

熊本大学文学部溝渕研究室

TEL:096-342-2335